

後期基礎プログラミングⅡの感想

C1071440 高橋ひとみ

はじめに、私が基礎プログラミングの講義で学んだことは2つある。

1つ目は、情報に関する知識と技術が今後社会に出る私達にとっていかに大切かということである。どんなことでも出来ると出来ないでは雲泥の差があるが、情報に関する知識と技術は社会に出て非常に有利になる。もしかしたら、近い将来、必要最低限のものになるかもしれない。だからこのような環境で情報の勉強が出来たことを幸せに思う。今現在の情報に関する私の知識と技術は非常に微々たるものであるが、1年間基礎プログラミングをやってきて本当に良かった。様々な面において確実に成長したと感じるし、絶対に無駄にはならないと思う。

2つ目は、CGIについてだ。最初はCGIという言葉聞いたことすらなかった。本当に初歩の初歩から学びはじめ、言葉の意味を理解し、様々なパターンを知り、最終的には簡単なCGIを作成出来るまでになった。未知の世界ともいべき領域に足を踏み入れ、その過程において幾度となく苦戦したが、大きな達成感を得た。この経験は、今後の私の人生への教訓となり、励みとなるだろう。またCGIを学ぶことによって情報リテラシーの能力を養うことが出来た。インターネット等でよく占いを見ることがある。有名な占い師の名前が載せてあって、その結果がどうであれ鵜呑みにしてしまいそうなものだ。以前、私も姓名診断などの占いが好きでその結果に左右されていた時期があった。しかし、それは簡単なプログラムといくつかのデータで数学的に処理することが出来ること、本人とは全く関係がないことを知った。基礎プログラミングでCGIを学習してやっと、それらがいかに信憑性がなく軽薄なものかを理解することが出来たのである。

私は、まだ将来就きたい職業があまり明確ではないのだが、教職過程を専攻している。もし教師になったら基礎プログラミングで学んだ情報に関する知識と技術を大いに活用していきたい。

また、基礎プログラミングを通して情報というものに非常に興味を持ったので、これからも機会があったら積極的に携わっていきたいと思う。

いずれにせよ、この東北公益文科大学における基礎プログラミングの講義からは、言い尽くせないほどの影響を受けたとここに記すことが出来る。感謝の念を示したい。